

図画工作科学学習指導（略）案

1年2組 26名 指導者 西郷 翔平

本授業は以下の検証を行うものである。

形やイメージに着目し、製作の中で意図的に交流の時間を設けることは、子供の見方・考え方を広げ、こだわりをもって自分の製作に生かす手立てとして有効であったか。

1 題材 いろいろな かたちの かみから（絵に表す）

2 指導計画（総時数4時間） ○重点化する「全ての学習の基盤となる資質・能力」

次	主な学習活動 【評価規準】	時間	基盤となる資質・能力					
			言	情	問	協	振	実
思いをもつ	1 題材名ボードや作品例を見て題材への意欲を高め、題材のめあてを捉える。 いろいろな かたちの かみを どんなものに へんしんさせることができるかな。	1		○			○	○
	2 はさみの使い方を知り、紙を様々な形に切る。 【知：はさみの正しい使い方を理解し、紙をいろいろな形に切ることができる。】 【態：題材に関心をもち、自分の思いを工夫して表したいという思いをもつことができる。】							
思いを表現する／ 思いをふくらます／ 自他のよさに気付く	3 いろいろな形の紙から感じたこと思い付いたことを基に表したいものを見付け、自分なりの表し方で楽しみながら絵に表すことができる。 【思：自分や友達が切った紙の形を基に、向きを変えたり友達と話したりしながら発想を膨らませ自分なりのイメージをもち、様々なものに見立て絵に表している。】 【態：いろいろな形の紙の特徴を捉え、絵に表すことを楽しもうとしている。】	1 (本時)			○	○	○	
		1			○		○	
新たな思いをもつ	4 作品を見たり、お話を聞いたりしながら表し方の楽しさや面白さについて考える。 【思：友達の絵を見ながら、表したかったことや表し方の工夫を見付けることができる。】	1	○				○	○

3 本時（2／4）

(1) 目標

いろいろな形の紙から感じたこと思い付いたことを基に表したいものを見付け、自分なりの表し方で楽しみながら絵に表すことができる。

(2) 評価規準

- 自分や友達が切った紙の形を基に、向きを変えたり友達と話したりしながら発想を膨らませ自分なりのイメージをもち、様々なものに見立て絵に表している。 【思考・判断・表現】
- いろいろな形の紙の特徴を捉え、絵に表すことを楽しもうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 指導に当たって

ア 主体的な学びの視点

導入において、同じ形を示し「これは何でしょうクイズ」をすることで、置き方や色を変えることの面白さや見立てることの面白さに気づき、本時の活動に主体的に取り組むことができるようにする。

イ 対話的な学びの視点

展開において、子供が製作した多様な作品について全体で交流する時間をもつことで、作品づくりの視点を与え自分の製作に生かすことができるようにする。

ウ 深い学びの視点

自分の思いを基に活動する中に互いの作品を鑑賞することで加わった作品づくりの視点を加えることで、色や形をより意識しながらこだわりをもって製作することができるようにする。

(4) 本時の展開

[] 子供の意識 ○ 指導の手立て ※評価規準

過程	時間	主 な 学 習 活 動	指 導 の 手 立 て
思いをもつ	5	1 紙を見て、「これは何でしょうクイズ」に答える。 (<ul style="list-style-type: none"> ・ 本当だ。〇〇に見える。 ・ えっ、〇〇には見えないよ。) 2 学習のめあてをたてる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> いろいろな かたちの かみを みんなのくふうで パワーアップさせよう。 </div>	○ 同じ形の紙を置き方や色を変え提示することで、置き方や色を変えて見立てることの面白さに気づき、主体的に活動することができるようにする。 ○ 活動計画を板書することで、目的や見通しをもって活動することができるようにする。
思いをふくらませます／思いを表現する／自他のよさに気付く	35	3 1つの形からイメージを膨らませ、見立てたものになるようにかき足していく。 (<ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくは、この形が〇〇に見えるから向きはこうしよう。 ・ 色をつけたら、へんしんさせることができるかな。) 4 つくった作品を使って、「これは何でしょうクイズ」を出す。 (<ul style="list-style-type: none"> ・ こっちを下にしたら〇〇に見えるよ。 ・ ここが頭で、ここがしっぽに見えないかな。 ・ 本当だ。そっちの方が面白そうだね。) 5 全体で交流した意見を踏まえ、作品をつくる。 (<ul style="list-style-type: none"> ・ 置き方はどうしたらいいかなあ。 ・ 〇〇さんは、こっちの方がいいって言っていたよね。 ・ 色は何色を使おうかな。) 6 友達の工夫や自分のよさを見付ける。 (<ul style="list-style-type: none"> ・ どんなどころを頑張ったのかな。 ・ 出っ張ったところがお気に入りだよ。 ・ ここのでこぼこしたところが、角に見えるから〇〇にしたよ。 ・ こうしたら、もっと〇〇みたいに見えるんじゃないかな。)	◎ クイズ形式で友達に自分の見立てたものを予想させることで、同じ形でも人によって見方・考え方が違うことに気づき、作品づくりの視点をもつことができるようにする。 ○ 板書を整理することで、学習内容を整理したり、参考にしたることができるようにする。 ※ 自分や友達が切った紙の形を基に、向きを変えたり友達と話したりしながら発想を膨らませ自分なりのイメージをもち、様々なものに見立て絵に表している。 (活動の様子や発表) 【思考力・判断力・表現力】
新たな思いをもつ	5	7 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> かみの おきかたを かえたり、なかに えを かいたり すると つたえたいことがつたわるよ。 </div> 8 次時の活動を確認し、友達と交流して気付いた自分のこだわりを更に作品に表したいという思いをもつ。 (<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと大きな〇〇にしたいから、紙をつなげたいなあ。 ・ 〇〇さんのつくった絵ってかっこいいなあ。〇〇さんのように、色も変身させようかな。)	○ 学習したことを振り返ることで、自分のイメージしたものを伝えるポイントをまとめることができるようにする。 ○ 本時の学習を振り返り、次時の活動を伝えることで、更に製作への意欲を高めることができるようにする。

